

平成30年度
事業報告



社会福祉法人 みどりの里

社会福祉法人 みどりの里

平成 30 年度 事業報告

当法人の平成 30 年度の事業について、以下のとおりその概要をご報告いたします。

1 はじめに

少子・高齢化という構造的な問題に直面するわが国において、持続可能な社会保障制度の維持・構築が不可欠となっています。

今後、社会福祉業界はさらなる効率化が求められます。当法人が社会福祉法人として本来の使命を全うするには、「経営理念」「経営原則」に基づく自主的・自律的な経営の確立と、福祉実践を積み重ねていくことが必要と考えております。

みどりの里も設立から 20 期目、施設開所から 18 年目となる平成 30 年度は、法人運営も円熟期にさしかかってきており、公益法人として地域貢献の在り方など、これからのみどりの里の方向性を示す「経営理念」になっております。

この経営理念は当法人の事業目的及び、役職員が一体となってこの理念に基づいた行動を目指します。この理念を組織に浸透させ組織全体で実践することで、個々の役職員のやりがい・生き甲斐につながり、行動・サービスの質が向上し、ひいては利用者・ご家族・地域の方の喜びにつながり、当法人の発展に繋がるものです。

《経営理念》

- 一、 私たちは、心のこもった笑顔で、安心安全な介護福祉を目指します
- 一、 私たちは、共に学び、共に支え合い、共に成長できるように努めます
- 一、 私たちは、ひとりひとりの目線で人権を守り、人との繋がりを大切にします
- 一、 私たちは、愛情と癒しで利用者が安心して過ごせる生活を創ります
- 一、 私たちは、社会福祉を通して、地域に貢献いたします

2 事業の概要

ご利用者のため職員の資質向上に重点を置き、法人全体として実施する各委員会主体の施設内研修の更なる充実、また外部研修への職員の積極的な参加促進等を行い、また今年度から臨床心理士による定期的な相談会を開始し役職員等の心のケアを行うなど、個々の職員の資質の向上に努め、ご家族を含むご利用者への高品質なサービスを目指しました。

また、チーフ会議、サービス向上委員会をはじめとして、種々の会議や委員会での議

論を通じて、より質の高いサービスを効果的かつ効率的に提供してまいりました。

その結果、苦情発生はなく、反面、ご家族から数々の感謝のお言葉をいただいております。

しかし、前年度同様、慢性的な職員不足であることは否めず、職員不足の解消と定着及び人材育成は喫緊の課題となっております。

3 運営状況の概要

主要な係数は次表のとおりです。なお、経理結果の詳細については、計算書類にて報告いたします。

【事業活動による収支】

(単位:万円)

	老人福祉施設					障がい者支援施設			両施設合計	
	特養及び同シヨート	デイサービス	居宅介護	訪問介護	小計	障がい及び同シヨート	就労継続支援B型	小計		
30年度	事業活動収入計	100.9%	95.1%	104.7%	89.7%	99.8%	109.0%	122.0%	109.7%	102.7%
		41,776	6,880	1,134	1,245	51,035	21,210	1,488	22,698	73,732
	事業活動支出計	105.8%	101.6%	94.9%	98.1%	104.7%	107.5%	102.0%	106.3%	105.2%
		37,677 (90.2%)	5,737 (83.4%)	1,143 (100.8%)	1,438 (115.6%)	45,996 (90.1%)	15,169 (71.5%)	3,883 (261.0%)	19,051 (83.9%)	65,047 (88.2%)
	人件費支出計	99.0%	95.4%	91.4%	97.4%	98.2%	103.5%	211.5%	112.2%	101.5%
		20,591 (49.3%)	3,267 (47.5%)	1,000 (88.2%)	1,247 (100.2%)	26,106 (51.2%)	8,111 (38.2%)	1,446 (97.2%)	9,557 (42.1%)	35,663 (48.4%)
	事業費支出計	102.8%	104.1%	79.6%	81.0%	102.8%	109.1%	104.1%	107.2%	104.4%
		6,903 (16.5%)	1,330 (19.3%)	33 (2.9%)	33 (2.7%)	8,299 (16.3%)	3,170 (14.9%)	1,746 (117.3%)	4,916 (21.7%)	13,215 (17.9%)
事務費支出計	127.4%	124.4%	172.2%	113.5%	127.2%	116.5%	47.8%	95.4%	116.2%	
	9,947 (23.8%)	1,076 (15.6%)	110 (9.7%)	158 (12.7%)	11,291 (22.1%)	3,780 (17.8%)	691 (46.5%)	4,471 (19.7%)	15,763 (21.4%)	
支払利息・その他支出計	79.2%	77.8%	-	0	76.8%	86.4%	-	86.4%	79.1%	
	236 (0.6%)	63 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	299 (0.6%)	108 (0.5%)	0 (0.0%)	108 (0.5%)	407 (0.6%)	
事業活動資金収支差額	70.7%	72.2%	7.7%	250.2%	70.1%	112.9%	92.6%	131.9%	87.3%	
	4,099 (9.8%)	1,143 (16.6%)	△ 9 (△ 0.8%)	△ 194 (△ 15.6%)	5,039 (9.9%)	6,041 (28.5%)	△ 2,395 (△ 161.0%)	3,646 (16.1%)	8,685 (11.8%)	
29年度	事業活動収入計									
		41,421	7,231	1,083	1,388	51,124	19,462	1,220	20,682	71,805
	事業活動支出計									
		35,622 (86.0%)	5,648 (78.1%)	1,204 (111.2%)	1,466 (105.6%)	43,940 (85.9%)	14,112 (72.5%)	3,806 (312.0%)	17,918 (86.6%)	61,858 (86.1%)
	人件費支出計									
		20,801 (50.2%)	3,423 (47.3%)	1,094 (101.0%)	1,280 (92.2%)	26,598 (52.0%)	7,838 (40.3%)	684 (56.0%)	8,521 (41.2%)	35,119 (48.9%)
	事業費支出計									
		6,715 (16.2%)	1,278 (17.7%)	42 (3.8%)	41 (2.9%)	8,074 (15.8%)	2,906 (14.9%)	1,677 (137.5%)	4,584 (22.2%)	12,658 (17.6%)
事務費支出計										
	7,809 (18.9%)	866 (12.0%)	64 (5.9%)	139 (10.0%)	8,878 (17.4%)	3,244 (16.7%)	1,445 (118.5%)	4,689 (22.7%)	13,566 (18.9%)	
支払利息・その他支出計										
	298 (0.7%)	81 (1.1%)	5 (0.5%)	5 (0.4%)	390 (0.8%)	125 (0.6%)	0 (0.0%)	125 (0.6%)	514 (0.7%)	
事業活動資金収支差額										
	5,799 (14.0%)	1,583 (21.9%)	△ 121 (△ 11.2%)	△ 77 (△ 5.6%)	7,184 (14.1%)	5,350 (27.5%)	△ 2,586 (△ 212.0%)	2,764 (13.4%)	9,948 (13.9%)	

① 各欄の左上の%は対前年比を、左下の(%)は事業活動収入に対する割合を示しています。

② この表は、法人本部及び収益事業は省略しました(計算書類を参照願います)。

4 平成30年度における重点課題に対する取り組み

平成30年度は、(1)組織統治(ガバナンス)の強化、(2)サービスの質の更なる向上、(3)地域における公益的な取組の推進、(4)信頼と協力を得るための情報発信(透明性の推進)、(5)人材の確保に向けた取組の強化、を重点課題として掲げ実践してまいりました。

以下に、その取り組み状況或いは結果の概要を報告いたします。

(1) 組織統治（ガバナンス）の強化

① 組織統治機能の強化

決議機関としての定時評議員会を開催し法定事項を決議していただくとともに、今後、評議員として意思決定に必要な事項について報告、説明を行いました。

このほか、評議員の皆様への施設運営について更なる理解を得るため、事業報告を兼ね毎月「みどりの里新聞」を送付するとともに、併せて適時適切に情報提供を行いました。

(2) サービスの質の更なる向上

② 第三者評価の受審

第三者委員として民生委員や自治会役員などの地域の代表者2名に、随時、提供しているサービスについて評価していただいています。

具体的には、第三者委員の皆様へ施設運営について理解いただくため、毎月「みどりの里新聞」を送付するとともに、苦情ご意見報告書の写しも適時に送付するなど積極的に情報提供を行いました。

③ 環境整備と標準予防策の徹底

「白いものは白く」をモットーに、トイレや食堂等の汚れやすい場所はもちろん、居室内のベッドの下、タンスの上、ベッド周り等の清潔を保持しました。

徹底した環境整備を行うことで、感染症まん延防止を行い、きれいな施設で利用者の皆様が気持ちよく快適な生活が送れるよう心がけました。

感染症については平成30年12月に障がい者支援施設、平成31年1月に特別養護老人ホームにてインフルエンザが発生、職員を含め感染者及び、感染疑い者13名が発症しましたが、平成31年2月に障がい者支援施設、平成31年3月に特別養護老人ホームで対応解除できました。その後も、数名の発症がありましたが、大事には至りませんでした。

④ 防災対策

常に災害が起こった場合、当法人としてどのように対応していくかを考え、事前に想定できる必要物品を1~2週間分、備蓄しています。

また、消防訓練を2回実施し、役職員全員が災害時に的確に対応ができるよう体制を整備しています。

⑤ 介護事故の未然防止

認知症の進行や障がいの程度により、転倒や転落、異食等の事故が起こる危険性が高くなります。

当法人では、ハインリッヒの法則「ヒヤリハット事例」を重視し、その報告の徹底と活用を行い、事故につながる前に各専門職員で防止策を考え、利用者の皆様が安全で、より快適な生活を送れるよう努めています。

しかし残念ながら、若干件数の間接事故が発生しましたが、その都度、事故対策委員会等で原因究明を行うと共に再発防止策を講じています。

⑥ 法令順守と接遇・マナーの向上

介護保険法や高齢者虐待防止法などの法令に則った適切なサービスを提供すると共に、「相手を大切に思う気持ち」からの挨拶、声かけ、目を見ての会話、丁寧な介護の提供が日々の場面で実際にどのように行われているか、について各委員会、各部署、職員会議等の場などあらゆる機会に検討しています。

また、当法人全体としてのサービスとマナーの向上のため、サービス向上委員会を中心に検討した具体的な改善策を、当法人の共通認識として周知し役職員全員でサービスの質の更なる向上と改善に努めています。

その結果、満足度調査アンケート結果においては、大部分が感謝の言葉で占められました。

しかし、若干の改善すべき事項も見受けられたことについて真摯に受け止め、また、回答者サイドの施設に対する気遣い等から本音の意見を出していただけていないことも考慮し、日頃の何気ない会話を通じて本音を聞き出し今後の施設運営に生かすこととしています。

(3) 地域における公益的な取組の推進

⑦ 地域を包括する公益的取り組みの推進

前年度に引き続き、当法人を「地域の安心福祉ステーション」とすべく地域貢献事業の拡充を図りました。具体的には、

- i) 備蓄庫・備蓄物品の拡充を図り、当法人を地域の防災拠点としての役割を強化…④に記載のとおり。
- ii) 教育機関との連携を強化し、実習生や体験学習を受け入れ、次世代の社会福祉に関する意識の高揚や福祉人材の育成・発掘に資する…⑨に記載のとおり。
- iii) 「生駒の生水」を配備可能な地域公共機関に配置し地域貢献に資する…各公共機関と折衝していますが、現在、配備可能な施設はありません（特定の事業者に対する便宜供与に当たるとの理由）。

⑧ 多様な社会福祉援助ニーズの把握

行政との連携のほか、②及び⑦の取り組みなど地域社会との連携を通じて、地域の多様な援助ニーズを把握することとしています。

⑨ 福祉体験の積極的な受け入れ

高齢社会が急速に進展する中で、福祉に関する課題は喫緊の課題であり、次代を担う児童、生徒の福祉問題に対する動機づけとしての福祉体験を積極的に取り組む必要があるとの認識に立ち、当施設において「きものファッションショー」の開催を行いました。関西だけでなく遠方の関東の大学生や高校生 14 名が参加され又、文京学院大学 人間福祉学科 学科長教授 鳥羽様も関東より見学に来られました。

(4) 信頼と協力を得るための情報発信（透明性の推進）

⑩ 要望・苦情への迅速かつ的確な対応

苦情相談受付をされた案件については、速やかに苦情受付担当者より責任者へ報告し、必要に応じた処置対応を行うこととしています。

また、受付した苦情に対する取扱いに客観性を持たせるため、当法人の第三者委員に苦情内容を報告するか否かを申出者に確認し、必要に応じ報告することで、客観性を持たせるよう配慮しています。

結果として、本年度の苦情は発生しませんでした。

⑪ 地域から信頼される情報発信

「ホームページ」や「フェイスブック」などの広報機能を強化し、事業計画、事業報告、法人の経営理念や事業活動、提供するサービスの内容、公益的な取り組みの実施状況等について、地域からの信頼を得るため、広く、地域に積極的に発信しています。また、毎月発行している「みどりの里新聞」で、法人が行う社会福祉事業、地域における公益的取り組み等さまざまな事業内容について、利用者や家族、地域住民等に対して適時に発信しています。

(5) 人材の確保に向けた取組の強化

⑫ 人材の確保と定着

人材確保と定着を喫緊の課題として捉え、職員処遇全般の向上、働き甲斐のある職場づくりに取り組んでいます。

併せて就職フェア等に積極的に参加し、人材の発掘に努めました。

また、PDCAサイクルを活用した人事考課制度の適正な運用により、職員の質の向上、福祉サービスの質と量の向上の「要」となるリーダー層の育成に取り組んでいます。そのほか、社宅・寮などを設置し福利厚生面の充実を目指しています（設置に向け随時に物件調査を行っているものの、結果として、未だ条件に合致した物件が見つかっていません）。

5 各事業所単位の事業報告

(1) 特別養護老人ホーム・同ショートステイ

当事業所を地域福祉施設の核となるよう位置づけ、きめ細かく様々なサービス及び利用者の意思を尊重したサービスの提供を念頭に、安心して生活できる場としての運営してまいりました。

事業目標に対する総括は次のとおりです。

- 環境整備と標準予防策の徹底により、常に感染症のないきれいな施設を提供しました。
- 法令遵守を徹底しました。
- 接遇やサービスマナーの向上を日々心掛けました。
- 身体拘束ゼロ運動に取り組み、4本ベッド柵、ミトン型手袋の使用、Y字帯ベルトの使用、介護衣の着用等はありませんでした。
- 介護事故の減少に取り組みました。
- 地域公益事業への貢献に努めています。

(2) デイサービス

これまで培ってきた実績と経験を生かし、通所介護計画に基づき利用者個々の状態に沿ったサービスを提供しました。

また、地域のボランティアの協力の下、余暇活動も充実したものとなりました。

併せて、介護保険対象サービス以外の取り組みも企画し、総合的に事業内容の充実を図り、長期利用に資するとともに充実感を充足しました。

(3) 訪問介護

確かな技術ときめ細やかな気遣いで利用者やご家族に寄り添ったサービスを提供することにより、利用者やご家族の満足度を高めました。

(4) 居宅介護

利用者に関する情報を事前に出来得る限り詳細に収集した上でアセスメントに臨み、利用者のニーズを的確に把握しました。

また、きめ細やかな気遣いで利用者やご家族と共に居宅サービス計画書を作成することにより、利用者やご家族にご満足いただけたと自負しています。

関係機関との連携を密にするとともに、適時適切なモニタリングにより利用者及びご家族の理解の下でより効果的な計画変更を柔軟に行うことで利用者の自立を支援しました。

契約者やご家族へのアンケート調査と居宅介護支援事業者自主点検表による自己点検結果に基づき、顧客満足度を向上させ業務内容を改善しました。

外部研修会（大東市ケアマネジャー研究会等）へ積極的に参加し、専門性を向上させました。

(5) 障がい者支援施設・同ショートステイ

利用者の主体性を大切にし、施設生活の安全と安心を守り、個々の充実した生活の質の向上を図るとともに、職員の業務提案や利用者からの意見を取り入れ風通しの良い施設運営を行いました。

事業目標に対する総括は次のとおりです。

- 職員を適正配置し、より安心、安全な施設を提供しました。
- 徹底した環境整備を行いました。
- 内部・外部研修に参加させるとともに日々職員個々のスキルアップを図り、安心して過ごせる施設を提供しました。
- サービスマナーの向上を日々心掛けました。

(6) 就労継続支援B型

利用者一人ひとりが自立し個々の生計を営めるように、ご家族の方々の手助けなく生活できるように、個別支援計画を作成し支援しました。また、「みどりの里」だけでなく「社会全体」で障がい者を支えるような仕組みを作り、「安心して働ける・安定した収入」を合言葉に取り組みました。

事業目標に対する総括は次のとおりです。

- 利用者が自立し個々の生計を営めるように賃金の向上を図りました。
利用者の賃金向上に繋げるため、特に当法人固有の事業である「生駒の生水」の拡販を積極的かつ計画的に進めてきました。

	30年度(対前年比)		29年度
生駒の生水事業収入	6,532千円	143.6%	4,547千円
本人支給金支出	1,051千円	122.2%	860千円
1人当たり平均月額工賃	13,012円	109.1%	11,924円
同 大東市平均額			11,849円
同 大阪府平均額			11,575円
同 全国平均額			15,603円

- 社会生活に必要な知識・能力向上のための訓練を行いました。具体的には、定期的に通い日々時間の決まった作業を行っていくことで、規則正しい生活のリズムを身に付け、ボトルシール貼りやボトルケース搬入、出荷補助等を行うことで作業所内外でのコミュニケーション力、作業に関する知識などを経験し身に付けていっています。

6 会議等開催状況

(1) 理事会、評議員会等の開催状況

開催日	種 類	定員	出席	議 事
平 30. 4. 26	理事会	6	6	月次決算の承認、 4月度の人事関係の承認、5月度理事会について、
平 30. 5. 29	理事会	6	4	月次決算の承認、5月度の人事関係の承認、定時評議員 会の開催の承認、同議案（事業報告案、計算書類及び財 産目録案、役員報酬、役員賠償保険契約）等の承認
平 30. 6. 26	評議員会	7	5	平成 29 年度事業報告(案)の承認、平成 28 年度計算書類 及び財産目録(案)の承認、定款の一部変更(案)の承認 〔特別決議〕、役員(理事及び監事)の選任、役員等の報 酬等の支給基準及び役員報酬総額並びに常勤役員 の報酬額の決定、平成 29 年度事業計画及び収支予算につ いて(報告事項)、法人運営に関する規約集について(報 告事項)、役員賠償責任保険の契約について(報告事項)
平 30. 6. 26	理事会	6	4	月次決算の承認、6月度の人事関係の承認、定時評議員 会の開催結果の報告、理事長登記及び資産総額変更登 記の、定款変更届の提出に関する報告、財務諸表等電子 開示システムの送信完了報告
平 30. 7. 26	理事会	6	4	月次決算の承認、7月度の人事関係の承認、豪雨災害義 援金の支出、就労支援事業の強化(生駒の生水拡販)策 の承認、夏祭り実施の承認、福祉就職フェアの報告
平 30. 8. 13	評議員会 (みなし決議)	7	7	理事の辞任・就任の件
平 30. 8. 28	理事会	6	5	月次決算の承認、8月度の人事関係の承認、理事の辞任・ 就任の件、夏祭り実施結果についての報告
平 30. 9. 26	理事会	6	5	月次決算の承認、9月度の人事関係の承認、
平 30. 10. 24	理事会	6	6	月次決算の承認、10 月度の人事関係承認、満足度調査 アンケートの実施結果に関する報告、
平 30. 11. 29	理事会	6	6	月次決算の承認、11 月度の人事関係の承認、屋上等防 水工事に関する入札結果及び、契約の件、大阪府指導監 査実施の結果報告
平 30. 12. 25	理事会	6	6	月次決算の承認、12 月度の人事関係の承認、定款変更 等の承認
平 31. 1. 30	理事会	6	5	月次決算、1 月度の人事関係、防水工事進捗の報告
平 30. 2. 26	理事会	6	5	月次決算の承認、1 月度の人事関係の承認、大阪府指導 監査の報告
平 30. 3. 26	理事会	6	6	月次決算、3 月度の人事関係、平成 31 年度事業計画書 (案)、平成 30 年度収支予算書(案)について、いず れも原案どおり承認 キャリアパス対応職員研修会に係る総括及び次年度の 計画、就職フェアの実施結果等についての報告

(2) 主な職員会議、委員会等の開催状況

会議等名称	回数	開催日			
チーフ会議	12回	平 30.04.03	平 30.05.01	平 30.06.05	平 30.07.03
		平 30.08.07	平 30.09.04	平 30.10.02	平 30.11.06
		平 30.12.04	平 31.01.08	平 31.02.06	平 31.03.06
ヘルパー会議	12回	平 30.04.16	平 30.05.15	平 30.06.15	平 30.07.13
		平 30.08.15	平 30.09.14	平 30.10.15	平 30.11.15
		平 30.12.14	平 31.01.15	平 31.02.15	平 31.03.15
給食会議	12回	平 30.04.26	平 30.05.24	平 30.06.28	平 30.07.26
		平 30.08.23	平 30.09.27	平 30.10.25	平 30.11.22
		平 30.12.27	平 31.01.24	平 31.02.22	平 31.03.22
サービス向上委員会	12回	平 30.04.30	平 30.05.28	平 30.06.25	平 30.07.30
		平 30.08.27	平 30.09.24	平 30.10.29	平 30.11.26
		平 30.12.24	平 31.01.28	平 31.02.26	平 31.03.26
身体拘束虐待防止委員会	12回	平 30.04.24	平 30.05.22	平 30.06.26	平 30.07.24
		平 30.08.28	平 30.09.25	平 30.10.23	平 30.11.27
		平 30.12.25	平 31.01.22	平 31.02.27	平 31.03.27
事故対策委員会	12回	平 30.04.10	平 30.05.08	平 30.06.12	平 30.07.10
		平 30.08.14	平 30.09.11	平 30.10.09	平 30.11.13
		平 30.12.11	平 31.01.15	平 31.02.13	平 31.03.13
感染症対策委員会	6回	平 30.06.22	平 30.09.21	平 31.10.31	平 30.11.30
		平 31.01.25	平 31.03.23		
褥瘡委員会	12回	平 30.04.19	平 30.05.17	平 30.06.21	平 30.07.19
		平 30.08.16	平 30.09.20	平 30.10.18	平 30.11.15
		平 30.12.11	平 31.01.15	平 31.02.13	平 31.03.13
入所選考委員会	12回	平 30.04.25	平 30.05.23	平 30.06.25	平 30.07.30
		平 30.08.27	平 30.09.24	平 30.10.24	平 30.11.28
		平 30.12.24	平 31.01.28	平 31.02.26	平 31.03.26

(3) 人権研修及びキャリアパス研修の状況

人権研修及びキャリアパス研修の実施状況は以下のとおりです。

特に、前年度に引き続き、計画的かつ定期的にキャリアパス研修を実施しました。本年度は6回実施し確実に職員の育成ができているものと思慮します。

※ 人権研修 2回

※ キャリアパス研修 (計12回、うち外部講師6回)

- ① 専門性を高める研修 3回 (外部講師)
- ② プライバシー保護、個人情報保護に関する研修 1回
- ③ 倫理、法令遵守に関する研修 1回
- ④ 接遇に関する研修 2回 (外部講師)

- ⑤ 認知症と認知症ケアに関する研修 0回
- ⑥ 身体拘束、虐待防止に関する研修 2回
- ⑦ 感染症、食中毒の予防とまん延防止に関する研修 2回（外部講師）
- ⑧ 事故防止に関する研修 2回（外部講師）
- ⑨ 緊急時の対応に関する研修 0回
- ⑩ 非常災害時に関する研修 0回

※ 内容が重複しているものを含んでいます。

7 役員等の改選状況

平成30年度中の役員等の改選状況は次のとおりです。

➤ 平成30年4月1日現在の役員等

機関名	氏名
評議員	諸富 敬章、小川 和夫、赤井 良二、原田 強、植林 優子、 賀来 久美、栗谷 純一 (任期：平成33年度評議員会終結時まで)
理事	隅田 栄利（理事長）、藤原 賢一、渡部 一郎、山口 純子、 西岡 健一、中谷 洋二 (任期：平成31年度評議員会終結時まで)
監事	塩川 隆志、松本佐和子 (任期：平成31年度評議員会終結時まで)

- 平成30年8月13日 評議員会（みなし決議）、平成30年8月26日 理事会の決議において藤原賢一理事解任及び隅田宗克就任を決議しました（任期は平成31年度評議員会終結時まで）。

➤ 平成31年3月31日現在の役員等

機関名	氏名
評議員	諸富 敬章、小川 和夫、赤井 良二、原田 強、植林 優子、 賀来 久美、栗谷 純一 (任期：平成33年度評議員会終結時まで)
理事	隅田 栄利（理事長）、隅田 宗克、渡部 一郎、山口 純子、 西岡 健一、中谷 洋二 (任期：平成31年度評議員会終結時まで)
監事	塩川 隆志、松本佐和子 (任期：平成31年度評議員会終結時まで)

8 職員の状況

平成31年3月31日現在における職員配置は次のとおりとなっています。

区分	平成31年3月31日現在配置数				平成30年度中	
	正社員	パート	派遣	合計	入職者数	退職者数
老人福祉施設	38	28	9	75	3	9
	36	27	6	69		
障がい者支援施設	10	11	5	26	6	3
	10	14	5	29		
計	48	39	14	101	9	12
	46	41	11	98		

(左肩の係数は平成30年3月31日現在配置数)

9 苦情の内容及び結果の公表

平成30年度において、苦情はありませんでした。